

米子 創造

『住んで楽しいまち よなご』

～新商都米子の創造に向けて～



さあ、始めよう。

『住んで楽しいまち よなご』

新商都米子の創造に向けての

新しいまちづくりをー。

ごあいさつ

令和2年、新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、私たちの暮らしに多大なる影響を及ぼしました。密を避けることが感染防止に有効であるとして、人々は外出自粛を余儀なくされ、社会経済活動は著しく停滞しました。その一方で、自然が豊かで食べ物や水がおいしく、密の少ない地方の暮らしが見直された年でもありました。

中国地方最高峰の大山(だいせん)のふもと、日本海と中海に囲まれ、古くから交通の要衝として発展してきた米子ですが、今こそ、この豊かな自然を活かしたまちづくりを進めていかねばなりません。そして、人々に楽しみや癒しをもたらす、健康長寿を重ねながら人生の充実を味わえる「住んで楽

しいまち よなご」をめざし、さまざまな取組に挑戦しましょう。

米子は、日本におけるトライアスロン発祥の地であり、SEA TO SUMMIT(シートゥーサミット)やアクアスロン、サイクルカーニバルなど、自然を活かしたスポーツイベントを全国に先駆けて開催してきました。かつて、米子の人々は、進取の気性と開放的な気質、果敢に挑戦する気概で「商都米子」を築き上げました。この伝統精神を引き継ぎ、豊かな自然を活かして新たな価値を創造し、新しい時代にふさわしい商都の形を皆さんと一緒に創りたいと思います。

「人口減少社会」を迎え、「脱炭素社会」を前にして、私たちは時代の変化を見据えた転換点を自ら作っていく覚悟が

目次 / CONTENTS

- 02.ごあいさつ
- 04.スポーツで生まれる絆と活力
- 06.食が育むココロと笑顔
- 08.米子で出会う癒しとロマン
- 10.米子市ってどんなまち?
- 11.米子市まちづくりビジョン
- 12.交通基盤の充実と人が集うまちづくり
- 14.市民が主役・共生のまちづくり
- 18.教育・子育てのまちづくり
- 20.地産外商・所得向上のまちづくり
- 24.歴史と文化に根差したまちづくり
- 26.スポーツ健康まちづくり
- 28.災害に強いまちづくり
- 30.米子市の人口ビジョン
- 31.マップ・アクセス

求められています。米子市ではこうした時代を乗り切るため、縮小していただくだけの発想に陥ることなく、自らの優位性を活かし、大きく発展するアジア諸国の成長を取り込んで地域経済の発展を図り、市民福祉を向上させていく所存です。

「米子市まちづくりビジョン」は、そんな思いを形にするため、私たちがこれからの10年で何を成し遂げていくべきか、様々な角度から検討を重ねた中で、特に重要な項目を掲げて作成したものです。試行錯誤を重ねながらもこれらを確実に実行していくことで、私たちの未来が開けるものと思います。

令和3年2月

伊木隆司
米子市長



YONAGO × SPORTS

スポーツで生まれる 絆と活力





水平線まで青く広がる日本海、きれいな空気とすぐそばにある豊かな緑。米子では、秀峰大山に見守られながら、体を思いっきり動かして、その雄大な自然を楽しむことができます。身近なところに、多様なスポーツが目白押しですので、自分自身のペースで、お好みのスポーツを満喫することができます。



1. 令和2年3月に全線開通した『白砂青松の弓ヶ浜サイクリングコース』。米子市・日野川河口～境港市・境夢みなとターミナルまでの約15.8kmのコースで、雄大な景色が魅力です。
2. 日本におけるトライアスロン発祥の地で開催される『全日本トライアスロン皆生大会』。選手としてのみならず、ボランティアとしても多くの市民が参加します。



3. チュウブYAJINスタジアムでのガイナーレ鳥取の試合観戦
4. 皆生プレイパーク芝生広場
5. 海上散歩シーカヤック
6. 皆生温泉マリンアスレチック 海皆-KAI・KAI-
7. シマノ ジャパンカップ 投(キス)釣り選手権大会
8. 米子ゴルフ場での米子市少年ゴルフ教室



YONAGO × TASTY

食が育む
ココロと笑顔



1



2



3



4

豊かな自然の中で、いきいきと暮らす人が住むところには、おいしい食べ物がたくさんあります。素材そのもののおいしさもさることながら、より一層おいしくなるよう、新たな加工技術が生みだされ、品種改良もすすめられています。そんな米子のとびっきりおいしいものを、ほんの一部、紹介します。

1.二十世紀梨 2.鳥取県生まれの甘柿の新品種“輝太郎” 3.米子の特産品“白ネギ” 4.白イカ 5.鳥取和牛 6.松葉ガニのトップブランド“五輝星(いつきぼし)” 7.鳥取県生まれのイチゴの新品種“とっておき” 8.大山地どり 9.のどぐろの一夜干し 10.大山山系の恵みをいかした米子市水道局の水道水“よなごの水” 11.大山ハム



5



6



8



9



7



10



11

YONAGO × SIGHTSEEING

米子で出会う 癒しとロマン



全国的にも珍しい、海から湯が湧く『皆生温泉』。発見から百年以上経つ今も、豊富な湯量は衰えず、また、魅力あふれる宿も数多くあり、訪れると素敵な時間が過ごせるはずです。

開発百周年を経て、さらなるパワーアップを予定しており、温泉街の灯り、目の前に広がる砂浜でのイベントなど、より素敵な『皆生温泉』に注目です。



米子城は「山陰随一の名城」とも称される壮麗な城であったといわれています。当時の建造物は失われていますが、石垣などは往時の姿をよくとどめており、今後も、三の丸広場、登り石垣の整備などが進められていきます。

観光もさることながら、ウォーキングコースとしても市民に親しまれており、ふもとから約15分の頂上から望む秀峰大山、市街地、日本海・中海は絶景です。



市街地を流れる加茂川は、ほとりに江戸末期から明治時代にかけての面影を今も色濃く残しており、下町情緒を感じながらの「まち歩き」、また、加茂川から中海までを船で堪能できる「加茂川・中海遊覧」といった楽しみ方があります。

白壁土蔵群、やさしい表情のお地藏様、九つのお寺が立ち並ぶ寺町通りなど、ここでは和みの時を感じることができるはずです。

「水と緑と史跡のまち」淀江町は、重要な遺跡・遺物が残されていると同時に、大山の山懐に長い年月蓄えられた伏流水・湧水が、随所に湧き出る名水の郷でもあります。

環境庁が指定する名水百選のひとつ「天の真名井」、国内最大級の弥生時代の集落跡である「妻木晩田遺跡」など、古代ロマンの魅力で惹きつけられる場所です。



米子市ってどんなまち？

what's?



YONAGO CITY

Answer!



自然環境

鳥取県の西側、山陰のほぼ中央に位置し、東に中国地方最高峰の「大山」、北に「日本海」、西にコハクチョウ渡来南限地でラムサール条約に登録されている「中海」という、豊かな自然環境に囲まれています。

また、国内トライアスロンの発祥の地である海に湯が湧く「皆生温泉」、大山山麓の「良質な地下水」など、豊富な自然資源を有しています。



充実した医療・介護環境

医療施設や介護施設が非常に充実しており、鳥取大学医学部附属病院をはじめ、山陰労災病院、国立病院機構米子医療センター、博愛病院など、大規模な病院のほか、産婦人科及び小児科系診療所などの小規模医療機関も多数集積しています。医療施設数・医療人材数においては、人口10万人当たりの全国平均を大きく上回る水準を有し、充実した医療サービスが提供されています。

また、介護施設数についても、人口10万人当たりの全国平均を上回るとともに、ほぼすべての種類の介護サービス事業所・施設が整備されており、多様なニーズに対応できる環境が実現されています。

商都米子の歴史

古くから交通の要衝であったことから、人や物の行き来が盛んな地の利をいかして「商都米子」として栄えてきた歴史があります。このような歴史で培われてきた特性のひとつとして、人と物が行き交う土地柄とそれに育まれた明るく開放的で進取の精神に富む市民性があります。

交通の要衝

山陰鉄道発祥の地の歴史を誇る「米子駅」を中心とする鉄道網や高速道路（米子道・山陰道）、国道などの道路網が整備され、また、山陰唯一の国際定期航空路線を持つ米子空港を有するとともに、日本海側拠点港（国際海上コンテナ、外航クルーズ他）を有する境港市と隣接しており、陸・海・空いずれにおいても便利なアクセス環境などから、海外にも開かれた山陰の玄関口と呼ばれる交通の要衝です。

歴史・文化

国指定の重要文化財、史跡など古代から近・現代に至るまで連綿と続く歴史や伝統、特色ある風土に育まれた数多くの文化財があります。

例えば、市内中心地に遺存する国史跡「米子城跡」や大山山麓の自然の中に広がる淀江地区の史跡群などは、高い学術的価値を有するだけでなく、市民にも親しまれ、郷土を愛する心の源となっています。

これらの文化財は、近年では地域活性化や観光振興に資する役割が認識され、その積極的な活用が期待されています。